

学力向上のために「アクションプラン」を活用しよう！ 【校内研究(探究型学習)とアクションプラン(学力向上)をリンクさせてみよう】

今年度の最上教育事務所「学校教育指導の重点」では「学校における育てたい資質・能力の明確化」と「全学年・全教科におけるアクションプランを核としたPDCAサイクルの構築」を柱としております。

1 学校の課題となる「資質・能力」(つきたい力)を明確にする。

- (1) 昨年度の全国学力学習状況調査や県学力調査及び各種検査、教職員が現状から捉える課題を焦点化する。(多くを望まず、今年度はこの課題を全職員で克服してみようとする姿勢を大切にしてみましょう。)
- (2) 学校課題を受け、学校として何をすべきかを焦点化して全職員で共有していくことが求められる。(目に見える学力を高めるためには全職員が共有した取り組みを！！)

2 実際に作成してみよう。(校内研修として取り組もう)

- (1) 当該の学年や教科の担当教員だけが検討、作成するのではなく、全教職員で結果を受け止め、一教員あるいは担当教科として「何ができるか」「学校としては何をすべきか」を共有できるようにする。
- (2) 各取り組みが「点」で終わるのではなく「線」で結んで実のあるものとなるように整理していく。

様式 A-1 「確かな学力」の育成に向けて・・・つきたい力を明確にした、教科の本質に迫るアクションプラン作成のポイント

(1) 調査問題・児童生徒質問紙の分析と、児童生徒につきたい資質・能力		(2) 「つきたい力、資質・能力」を付けるために必要な指導・取り組み等 「確かな学力」の育成(令和2年度学校教育指導の重点P16)を意識しながら指導・取り組みを考えましょう。												
<p>① 調査問題、児童生徒質問紙の分析等</p> <p>1 児童生徒の実態・課題</p> <p>「全職員での実態・課題把握」が学力向上の第一歩</p> <p>(1) 調査問題の分析</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 昨年度の全国学力学習状況調査を分析 ② 実施したNRT・CRT・その他テストを分析 ③ 今年度の全国学力学習状況調査問題を分析 <div style="border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>7月中に今年度実施予定だった「全国学力学習状況調査」「県学力調査」の問題が各学校に届きます。ぜひ活用してください。</p> <p><分析></p> <ul style="list-style-type: none"> ○「全国学力学習状況調査」は学校独自で分析 ※依頼があれば教育事務所で分析をいたします。 数値は公表いたしません。 ○「県学力調査」は県が回収し分析をいたします。 <p>※問題を実際に解いて、出題のねらいや意図を確認</p> </div> <p>(2) 「総合的な学習の時間」を実施しての課題</p> <p>(3) 学校生活において、職員が課題と考える実態</p> <div style="text-align: center; margin: 10px 0;"> <p>よさ</p> <p>学力・学習面 ————— 生活・行動面</p> <p>課題</p> </div> <p>KJ法で整理・分析</p>	<p>② 児童生徒につきたい力、資質・能力</p> <p>2 育てたい資質・能力の明確化</p> <p>「育成をめざす資質・能力」の考え方</p> <p>例1</p> <p>「国語・算数数学・英語で付きたい力」</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 接続語を使って長文を2文に分ける ○ 複数の資料を関連付けて説明できる <p>「全教科で付きたい力(資質・能力)」</p> <p>複数の情報を関連づけて考察し表現できる。</p> <p>例2</p> <div style="text-align: center;"> <p>学校教育目標</p> <p>↓</p> <p>めざす児童・生徒像 研究テーマ</p> <p>↓</p> <p>各教科の分析から見えた課題</p> <p>↓</p> <p>付きたい力(資質・能力)</p> </div> <p>付きたい力① 読み取る力</p> <ul style="list-style-type: none"> ・問題文を理解する力 <p>付きたい力② 自分の考えを筋道立てて書く力</p> <ul style="list-style-type: none"> ・理解したことを相手に伝えるように説明する力 	<p>3 必要な指導・取り組み等</p> <p>めざす資質・能力を全学年で育むため、「教育活動全般」「全教科」で取り組む内容を整理</p> <p>例1</p> <p>(1) 全学年・教科で取り組む授業改善のポイント</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 自分の考えを「伝える活動」と「書く活動」の時間を確保する。 ② 「なぜそう考えたのか？」と根拠や理由を問い返す。 ③ ④ <p>(2) 1学期に取り組む教科と単元及び大切にしている内容</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 20px;">1学年</td> <td style="width: 20px;">国語</td> <td>.....</td> </tr> <tr> <td></td> <td>算数</td> <td>.....</td> </tr> <tr> <td>2学年</td> <td>国語</td> <td>.....</td> </tr> <tr> <td></td> <td>算数</td> <td>.....</td> </tr> </table> <p>例2</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 読み取る力 国語 数学 英語 委員会 ○ 自分の考えを筋道を立てて書く力 各教科 	1学年	国語		算数	2学年	国語		算数
1学年	国語												
	算数												
2学年	国語												
	算数												
<p>取組みの振り返り・児童生徒の姿の見取り (9月)</p> <p><見取りの方法></p> <p>例1 学期末の「学校評価」に評価項目として載せ、数値化して評価する。</p> <p>例2 高める「資質・能力」に関する問題を定期的実施する〇〇テストに加えて評価する。</p> <p>例3 全国学力学習状況調査・県学力調査の過去問で評価する。</p>		<p>取組みの振り返り・児童生徒の姿の見取り (2月)</p> <div style="border: 2px solid blue; border-radius: 15px; padding: 10px; margin: 10px 0;"> <p>「記述力」を高める</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 定期的な〇〇テスト(100点) + 記述問題(10点)で評価していく。 ② 学期末テストや学年末テストで指導の成果を評価していく。 </div>												